



品川区議会だより

No.257 平成28年(2016年)8月23日 発行 品川区議会 (〒140-8715) 東京都品川区広町2丁目1番36号 電話 03-5742-6810 (直通) Fax 03-5742-6895
品川区議会のホームページアドレス <http://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>

平成28年 第2回定例会 6/23～7/7

- 平成28年第2回定例会の議案…1～2
- 区政をきく (一般質問) ……2～7
- 採択し、報告を求めた請願について
……………4～5
- 意見の分かれた議案等……………8
- 請願・陳情の結果……………8
- 本会議・委員会の日程 (予定) ……8
- 請願・陳情を提出するには……………8



しながわ水族館(勝島3丁目2番)のゴマフアザラシ

第2回定例会の議案

平成28年第2回定例会は、6月23日から7月7日までの15日間の会期で開催されました。

区長から「行政委員会の委員の報酬および費用弁償に関する条例」などの議案が、議員より「議員派遣の件」についてそれぞれ提案があり、慎重審議の結果、次のとおり可決されました。

以下、概要をお知らせします。

区長提案

条例 (一部改正)

▼行政委員会の委員の報酬および費用弁償に関する条例

月の初日からその月の末日までの間職責を果たすことができない行政委員会の委員の月額報酬に係る支給方法を見直す。

施行期日 公布の日

▼監査委員の給与等に関する条例

月の初日からその月の末日までの間職責を果たすことができない監査委員の月額報酬に係る支給方法を見直す。

施行期日 公布の日

▼区立体育館条例

総合体育館および戸越体育館の主競技場において、一定の営利行為を目的とした利用を認める。

施行期日 平成28年10月1日

▼放課後児童健全育成事業の設備および運営の基準に関する条例

「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」が改正されたことに伴い、規定を整備する。

施行期日 公布の日

▼保育の実施等に関する条例

保育所および区立認定こども園における保育料について、多子軽減制度を拡充する。

施行期日 公布の日

▼私立認定こども園、私立幼稚園および特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例

私立認定こども園、私立幼稚園および特定地域型保育事業における利用者負担額について、多子軽減制度を拡充する。

施行期日 公布の日

▼区営住宅条例

公営住宅法に基づき建替えを行った区営住宅に係る使用料を減額する。

施行期日 公布の日

▼地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例

「豊町四・五・六、二葉三、四、西大井六丁目地区地区整

備計画」が決定された区域内における建築物の容積率、敷地等について制限を定める。

施行期日 公布の日

▼区立幼稚園条例

区立幼稚園における保育料について、多子軽減制度を拡充する。

施行期日 公布の日

▼区議会議員および区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法施行令が改正されたことに伴い、区議会議員および区長の選挙運動に係る公費負担の限度額を改める。

施行期日 公布の日

条例 (廃止)

▼行政委員の報酬の特例に関する条例

行政委員会の委員および監査委員の月額報酬に係る支給方法を見直すことから、条例を廃止する。

施行期日 公布の日

契約

▼総合庁舎熱源改修工事請負

工期 契約締結の日の翌日
～平成30年12月20日

▼芳水小学校第1期校舎改築
その他空調設備工事請負

契約

品川区議会永年在職議員表彰

平成28年4月30日付で在職25年を迎え、品川区議会永年在職議員表彰規定に基づき、表彰されました。これは、永年にわたる議会活動を通じ、地方自治の確立と区政の発展に努めた功績に対して、議会の議決により表彰されたものです。また、全国市議会議長会からも永年にわたる功績に対し、表彰されました。



伊藤昌宏 議員

平成3年4月初当選
議長、監査委員、総務
委員長、議会運営委員
長などを歴任

全国市議会議長会表彰

永年にわたり議会活動に貢献し、地方自治の進展に努めた功績に対し、全国市議会議長会から表彰を受けました。



石田秀男 議員

※鈴木ひろ子議員は議員在職15年表彰を辞退しました。

契約の方法 制限付き一般競
争入札による契約
契約金額 5億5千80万円
契約の相手方 太洋・三橋建
設共同企業体
工期 契約締結の日の翌日
平成30年12月20日
▼芳水小学校第1期校舎改築
その他電気設備工事請負契約
契約の方法 制限付き一般競
争入札による契約
契約金額 4億9千140万円
契約の相手方 振興・紫光建
設共同企業体
工期 契約締結の日の翌日
平成30年12月20日
▼品川図書館空調改修工事請
負契約
契約の方法 制限付き一般競
争入札による契約
契約金額 2億88万円
契約の相手方 新菱テク・東
海管建設共同企業体
工期 契約締結の日の翌日
平成29年1月31日
▼東品川橋架替工事（その3
護岸・道路復旧）請負契約
契約の方法 制限付き一般競
争入札による契約
契約金額 7億8千732万円
契約の相手方 大旺新洋・沼
田建設共同企業体
工期 契約締結の日の翌日
平成30年9月28日
▼勝島橋補修工事請負契約
契約の方法 制限付き一般競
争入札による契約
契約金額 3億9千312万円
契約の相手方 大旺新洋株式
会社東京支店
工期 契約締結の日の翌日
平成29年3月31日
▼大森駅水神口自転車等駐車
場整備工事請負契約の変更に
ついて
契約金額の変更について

〔変更前〕
7億3千895万1千300円
〔変更後〕
7億4千120万6千160円
▼浜川雨水排水管建設工事そ
の2請負契約の変更について
契約金額の変更について
〔変更前〕
6億8千397万4千800円
〔変更後〕
6億9千814万4千400円
▼浜川雨水排水管建設工事そ
の2（浜川公園人孔等整備）
請負契約の変更について
契約金額の変更について
〔変更前〕
8億5千536万円
〔変更後〕
8億5千973万4千円
▼勝島運河雨水貯留施設建設
工事その2（池上通り取水管
等整備）請負契約の変更につ
いて
契約金額の変更について
〔変更前〕
2億8千836万円
〔変更後〕
2億9千73万6千円
▼平成28年度一般会計補正予
算
（1）歳入歳出予算補正額
5億9千578万6千円追加
（補正後の歳入歳出予算額
1千684億9千428万6千円）
（2）債務負担行為補正件数
追加 1件
▼平成28年度介護保険特別会
計補正予算
（1）歳入歳出予算補正額
386万5千円追加
（補正後の歳入歳出予算額
236億8千534万6千円）
▼平成28年度一般会計補正予
算（東京都知事選挙執行費）

（1）歳入歳出予算補正額
1億2千608万3千円追加
（補正後の歳入歳出予算額
1千686億2千36万9千円）
教育委員会委員の任命同意
地方教育行政の組織及び運
営に関する法律第4条の規定
に基づき、次の者を教育委員
会委員に任命することに同意
した。
海沼 マリ子氏
人権擁護委員の推薦
人権擁護委員法第6条第3
項の規定に基づき、次の者を
人権擁護委員に推薦すること
に同意した。
森田 和枝氏
野田 律子氏
小原 愉里氏
大西 英敏氏
野口 清彦氏
岸 朱実氏
議員提案
議員派遣の件
▼ジュネーヴ市公式訪問団派
遣
（1）派遣目的
友好憲章締結25周年記念行
事参加
（2）派遣場所
スイス連邦ジュネーヴ州ジ
ュネーヴ市
（3）派遣期間
9月15日から9月20日まで
（4）派遣議員
大沢 真一
松澤 利行
本多 健信
たけうち 忍
あべ 祐美子

区政をきく

（一般質問）

平成28年第2回定例会では、区政全
般について、11名の議員が一般質問を
行いました。

以下、概要をお知らせします。

筒井ようすけ 議員
（維・無）

リオ・オリンピックに区の職員5名・
議員2名で税金2132万3000円
かけての視察は再考と説明責任を

と、区議会が決定した議員の
2名だ。②本番の大会を視察
する重要性から決定したもの
であり、他区と比較して中止
する考えはない。③結果等に
ついては、区議会のオリンピ
ック・パラリンピック推進特
別委員会において報告する。

羽田空港増便による騒音等の
問題について、区は国に対し
強く主張を

①国の説明会には、区民は
2千437名しか来ておらず、ま
だまだ新飛行ルート案のこと
を知らない区民が多数いると
考えられる。改めて広報しな
がわや区のホームページで周
知するべきでは。②品川区の
住宅街の真上を通る飛行ルー
トではなく、千葉県の過疎地
域上空を通る飛行ルートでも
増便は可能だという専門家の
代替案もある。このような代
替案を国に提示し、新飛行ル
ート案を回避するよう要望す
べきでは。③国が新飛行ルー
ト案を強行した場合、防音工
事の対象の範囲を、空港周辺
地域だけでなく、騒音の影響
を受ける地域全てに拡大する
よう求めるべきでは。④騒音
の測定や区民窓口の設置、万
が一の落下物事故の補償は、
国に責任を持つてやらせるべ
きでは。⑤新飛行ルート案が
固定化しないよう、様々な代
替案や技術革新等が出てきた
ら、即刻ルート案を撤回する
よう国に求めるべきと考える
が、見解を。

都市環境部長 ①国による
オープンハウス型説明会など
に加え、区としても、広報や
ホームページ等を通じ、広く
周知を図ってきた。今後も引
き続き取り組んでいく。②現
在示されているルート案は、
滑走路の使い方や飛行経路に
ついて、専門家による様々な
見地から技術的な検証を行っ
た結果、示されているものと
理解している。③国は、対策
をとるべき地域の拡大や施設
のあり方を検討している。区
として、教育施設や病院など
についてどのような方策があ
るのか、具体的に示すよう求
めている。④騒音測定や窓口
については国も必要と考えて
おり、実施するよう求めている。
事故が起きないよう徹底
した対応を国に求めていくが、
万が一発生した場合は、国が
責任を持って調査を行い、航
空事業者とともに対応してい
くことを確認している。⑤将
来的な経路については、国に
対して、常に最新の技術を用
いた更なる影響軽減の方策を
講じることを求めている。

区長の給料や議員の報酬額な
どを審議する特別職報酬等審
議会の審議・議事録・委員は
公開すべき

①区長の給料や議員の報酬
などを議論する特別職報酬等
審議会は、現在非公開となっ
ているが、審議・議事録・委
員は公開するべきでは。

区長 ①審議会委員は一般
の区民の方々である。活発に
議論していただくため、あえ
て公開等は行っていない。ま
た、平成28年1月より、答申
内容等の詳細をホームページ
に公開し、透明性の確保に努
めており、取り扱いを変更す
る考えはない。

一般質問



松澤 利行 議員(自・末)

防災意識の高揚について

①最新の全国地震動予測地図によると、東京の地震発生確率は47%となっている。まだまだ区民の防災意識は低いと感じるが、防災意識の高揚を更に図る必要があるのでは。

区長 ①これまでの災害の教訓や首都直下地震への備えるべき事項を、各種会議や訓練等を通じて共有していく。また、しながわ防災体験館やしながわ防災学校等を活用して、防災意識の高揚につながるよう取り組んでいく。

「しながわ防災体験館」について

①3月にリニューアルオープンしたしながわ防災体験館について、来館人数の推移は、①来館者を増やすためのPRをどのように行っているか。②再度来館してもらえよう、初期消火等の体験をした方に修了証を渡しては。

区長 ①3月は183名、4月は389名、5月は505名だ。①

パンフレットの配布や防災訓練での周知等、PRに努めている。③回来館すると記念品を渡すスタンプリカードを作成し、配布を始めたところだ。

のかわりも深いため、東京都建築士事務所協会品川支部と協定を締結した。②精密診断が必要であり、期間も長くなるため、戸建て住宅と比べ費用が高くなる。助成手続きの中で内容をしっかりチェックし適切に実施していく。



新妻さえ子 議員(公明)

「がん予防」及び「がん教育」について

①西品川一丁目地区は、再開発地域以外の大部分が木密地域なのに、なぜ木密地域不燃化10年プロジェクトから外されたのか。②密集住宅市街地整備促進事業にかかわる地域において、6か所の土地が購入したまま暫定整備となっている理由は。③閉店予定の戸越公園駅近くのイトーヨーカドー跡地を、補助29号線の整備に伴う住宅や商店の移転用地として購入しては。

①首都直下地震の発生が危惧される中、可搬ポンプ積載車の導入が急がれるが、まだ8台が未配備となっている。車庫となる用地の確保がネックとなっているが、配備への更なる支援を。

①がん検診受診啓発イベントが予定されているが、開催時期や内容は。②区では胃がん、肺がんのほか、7種のがん検診を行っているが、受診率は23区では真ん中あたりだ。受診率向上のため、土・日曜日に1か所ですべて検診を受けられるよう体制を整備しては。③肺がん予防のため、禁煙外来マップの作成が予定されているが、禁煙治療費も助成するべきでは。④子どもたちの30、40年先の胃がんリスク減のために、中学3年生への胃がんリスク検診を導入しては。⑤子どもたちががんを正しく理解することは、生活習慣の改善や、がん予防の意識の向上につながり、将来的に検診受診率を向上させる。医師会や保健師、学校教員と連携し、小中学校でがん教育の授業を行っては。

①平成31年度までに街路灯を全てLEDに取りかえていくことになったが、従来型水銀ランプの在庫の処分はどのように行っていくのか。①街路灯としては明る過ぎないかという問題はクリアしたのか。②商店街街飾灯のLED化については、都が事業費の80%を助成しているが、街路灯を兼ねているため、区も上乗せ助成をするべきでは。

①がん検診受診啓発イベントが予定されているが、開催時期や内容は。②区では胃がん、肺がんのほか、7種のがん検診を行っているが、受診率は23区では真ん中あたりだ。受診率向上のため、土・日曜日に1か所ですべて検診を受けられるよう体制を整備しては。③肺がん予防のため、禁煙外来マップの作成が予定されているが、禁煙治療費も助成するべきでは。④子どもたちの30、40年先の胃がんリスク減のために、中学3年生への胃がんリスク検診を導入しては。⑤子どもたちががんを正しく理解することは、生活習慣の改善や、がん予防の意識の向上につながり、将来的に検診受診率を向上させる。医師会や保健師、学校教員と連携し、小中学校でがん教育の授業を行っては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

街路灯のLED化と商店街街飾灯のLED化について

①平成31年度までに街路灯を全てLEDに取りかえていくことになったが、従来型水銀ランプの在庫の処分はどのように行っていくのか。①街路灯としては明る過ぎないかという問題はクリアしたのか。②商店街街飾灯のLED化については、都が事業費の80%を助成しているが、街路灯を兼ねているため、区も上乗せ助成をするべきでは。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

①平成31年度までに街路灯を全てLEDに取りかえていくことになったが、従来型水銀ランプの在庫の処分はどのように行っていくのか。①街路灯としては明る過ぎないかという問題はクリアしたのか。②商店街街飾灯のLED化については、都が事業費の80%を助成しているが、街路灯を兼ねているため、区も上乗せ助成をするべきでは。

①がん検診受診啓発イベントが予定されているが、開催時期や内容は。②区では胃がん、肺がんのほか、7種のがん検診を行っているが、受診率は23区では真ん中あたりだ。受診率向上のため、土・日曜日に1か所ですべて検診を受けられるよう体制を整備しては。③肺がん予防のため、禁煙外来マップの作成が予定されているが、禁煙治療費も助成するべきでは。④子どもたちの30、40年先の胃がんリスク減のために、中学3年生への胃がんリスク検診を導入しては。⑤子どもたちががんを正しく理解することは、生活習慣の改善や、がん予防の意識の向上につながり、将来的に検診受診率を向上させる。医師会や保健師、学校教員と連携し、小中学校でがん教育の授業を行っては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

①区が耐震診断助成のために協定書を締結している機関の名前とその選定理由は。②町会会館の耐震診断は全額助成をしているが、全額助成であるため、診断費用の算出根拠を区がしっかりと把握する必要があるのでは。

①がん検診受診啓発イベントが予定されているが、開催時期や内容は。②区では胃がん、肺がんのほか、7種のがん検診を行っているが、受診率は23区では真ん中あたりだ。受診率向上のため、土・日曜日に1か所ですべて検診を受けられるよう体制を整備しては。③肺がん予防のため、禁煙外来マップの作成が予定されているが、禁煙治療費も助成するべきでは。④子どもたちの30、40年先の胃がんリスク減のために、中学3年生への胃がんリスク検診を導入しては。⑤子どもたちががんを正しく理解することは、生活習慣の改善や、がん予防の意識の向上につながり、将来的に検診受診率を向上させる。医師会や保健師、学校教員と連携し、小中学校でがん教育の授業を行っては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

①区が耐震診断助成のために協定書を締結している機関の名前とその選定理由は。②町会会館の耐震診断は全額助成をしているが、全額助成であるため、診断費用の算出根拠を区がしっかりと把握する必要があるのでは。

①がん検診受診啓発イベントが予定されているが、開催時期や内容は。②区では胃がん、肺がんのほか、7種のがん検診を行っているが、受診率は23区では真ん中あたりだ。受診率向上のため、土・日曜日に1か所ですべて検診を受けられるよう体制を整備しては。③肺がん予防のため、禁煙外来マップの作成が予定されているが、禁煙治療費も助成するべきでは。④子どもたちの30、40年先の胃がんリスク減のために、中学3年生への胃がんリスク検診を導入しては。⑤子どもたちががんを正しく理解することは、生活習慣の改善や、がん予防の意識の向上につながり、将来的に検診受診率を向上させる。医師会や保健師、学校教員と連携し、小中学校でがん教育の授業を行っては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

区議会だよりを音声で聞くことができます

区議会だよりの音声版「声の区議会だより」を、区議会ホームページで聞くことができます。この音声版は、区議会だよりを読み上げたものです。ぜひご利用ください。



品川区議会 声の区議会だより

検索

目の不自由な方へ、「声の区議会だより」(CD、カセットテープ)を無料で送付しています。ご希望の方は、区議会事務局調査係 ☎03-5742-6810までお問い合わせください。

確保などの事務処理上の課題解決を踏まえ、検討していく。

率は約76%と推計している。耐震改修促進計画に基づき、地域の方々と耐震性の確保に努めていく。②防災上重要な公共施設の耐震化は、平成27年度までに完了しているため、区庁舎が被災した場合の代替施設の設けはしていない。③避難所運営のルール等は、避難所ごとに地域の話し合いで定めている。様々なニーズがある中で総合的に検討するよう提案していく。④健康相談窓口の設置や精神科医等による相談チームの巡回をすることとしており、そのための人材確保をしていく。⑤避難所連絡会議の役員の約2割が女性であり、区としても避難所への女性職員の配置に努めている。⑥支援者の確保等、避難行動要支援者の支援体制をつくることとし、具体化に向けた準備を進めている。

①住宅の耐震化について、区の現状は。②公共施設の耐震化の状況と区総合庁舎が被災した場合の代替施設は。③子どもたちへのケアについて、全避難所に子どもの遊ぶスペースを確保すべきでは。④防災時に親子の心の不安を相談できる窓口の設置と、心のケアができる専門性の高い人材確保等が必要では。⑤女性に配慮した避難所運営を行えるよう、各避難所に女性を配置することを義務づけては。⑥障がい者への対応について、避難支援個別計画作成の取り組み状況と、今後の課題は。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

①区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後は受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。②国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。③独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。

一般質問

のだて稔史 議員
(共産)

アベ改憲許さない。集団的自衛権は先制攻撃、区民を危険にさらす戦争法は廃止に

①集団的自衛権は先制攻撃であり、区民を危険にさらすことになるのでは。②違憲の戦争法に従う必要はないと思いが、見解を。③自衛隊入隊・入校者激励会へ出席することが、危険な場所に品川の若者を送り出すことになるという自覚はないのか。

区長 ①②外交・防衛は国の役割であり、一自治体の立場から見解を述べることは差し控える。③自衛隊に入隊・入校する区民を激励するため出席している。

不安をあり住民追い出す29号線道路は中止し、熊本地震の教訓ふまえた防災対策を

①熊本地震から学ぶべき教訓は、倒壊や火災から住宅を守るのだと思うが、見解は。②住み替え支援や不燃構造化支援等の対象地域を、区内全域に拡大しては。③延焼遮断帯として整備する補助29号線の道路計画があるが、道路の両側で延焼すれば、まちは燃え広がりに立たない。道路計画の中止を求めるが、見解を。④都の第四次事業化計画で、区内で未着手、未完成の都市計画道路全てを必要と判断したのはなぜか。

都市環境部長 ①引き続き住宅の耐震化や感震ブレーカ

親世帯など、より保育を必要とする家庭のほとんどは認可保育園を利用している状況にある。②引き続き、保育園に利用可能な用地情報に注視し、関係機関に働きかけていく。

③区立認可保育園の増設は、用地取得から保育園整備まで最短でも3年を要するため、現下の待機児童対策としては有効な手法ではない。④保育士の処遇は大幅に改善されている。また、多くの自治体で私立保育園事業者が様々な手法を活用し、公立保育園の運営を担っている。

子どもの自殺をなくしたい命を守りぬく学校、社会の取り組みを

①区立学校8年生2人が電車に飛び込み亡くなる事故が起きたが、報道では自殺をはのめかすメモが残っていたとあるが、教育委員会はこのメモを見たのか。②自殺の背景を明らかにする調査委員会の設置と調査結果の公表を求めるが、見解を。③生きる希望を育む教育が行われるよう、学校、地域を挙げて取り組むことを求めるが、見解を。

教育次長 ①教育委員会は見えていない。警察からもその存在等について聞いていない。②全生徒対象に行ったアンケートやカウンセリングでは、いじめや子ども同士のトラブルは出ていない。また、警察からも事件性はないと聞いており、調査委員会を設置する考えはない。③市民科で生き抜く力の育成に取り組んでおり、今後も地域とともにある学校づくりを進めていく。



いながわ貴之 議員 (民・無)

総合的な地震対策について

①熊本地震の何を教訓とし、今後の地震対策を進めていくのか。②地域防災計画の改訂は、どのような視点で行っていくのか。③他の自治体に先駆け、避難所等の天井の落下防止対策を講じたことなどを、防災意識の向上に生かしては。区長 ①建物の倒壊が多かったことから、耐震性確保の支援に努めていく。②これまでの災害の教訓を取り入れ、改訂していく。③各種会議や訓練等で、災害の教訓や落下防止対策の事例等を共有し、防災力の向上等に努めていく。

区内建設関係事業者等とのさらなる連携強化について

①被災建築物の応急危険度判定員ボランティアの登録を推進するべきでは。②応急仮設住宅の建設や被災住宅の応急修理には、地域の実情を把握する地域建設関係事業者等の協力が必要では。③災害時協力協定の加入事業者を増や

すため、施工能力等審査型総合評価方式の災害協定点の引き上げを。

都市環境部長 ①応急危険度判定員の登録は都が募集しているが、引き続き事業者へ周知を図り、登録を働きかけていく。②災害時には品川建設防災協議会と連携し、対応していく。③平成27年に見直しを行い、23区でトップクラスの配点に引き上げた。当面は現制度での運用に努める。

空き家等について

①品川区初の特定空き家の代執行が行われたが、成果は。②今後の管理不全な家屋の考え方は。③管理不全の家屋を代執行することは安易なことではなく、所有者のケアなど多方面の部署との連携が必要と考えるが、所見を。③空き家等の実態調査により戸数や分布状況が分かったが、空き家の有効利用のためにはもっと詳細な分類が必要では。都市環境部長 ①広く報道されたことで空き家の所有者の意識が高まり、適正管理が進むものと考えている。②除却や改修の支援などを周知し、所有者の自主的な対応を促していく。③再発防止などの観点から、地域や各部署との連携のもと、所有者などへの働きかけが必要だと考える。③耐震性など様々な条件で分類できるよう取り組んでいく。

歩道のバリアフリーについて

①バスのバリアフリー化は進んでいるが、道路施設の整備は追いついていないのでは。

介護福祉の人材確保について

①介護福祉の人材を更に多く輩出する必要があるのでは。

②介護福祉専門学校について③28年度の入学人数は24人で開校以来最も少なかった。入学人数の増加に向けて、営業活動に力を入れる必要があるのでは。④中小企業センターに専門学校があると認識できるように、入口等を改修しては。

福祉部長 ①28年度は緊急人材確保支援策として、遠隔地からの人材獲得支援や住居確保支援、介護ロボットの導入等を実施する。②27年度に訪問した高校は約120校で、オープンキャンパスは11回実施した。今後もPR方法を工夫し、学生確保に努めていく。③学校の敷地ではないため、関係課と協議・調整していく。

採択し、報告を求めた請願について

平成27年第4回定例会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

品川区私立幼稚園児保護者負担教育費軽減のための請願

(1) 保護者補助金の所得制限の撤廃について
保護者補助金は、保護者の負担軽減、公私格差の是正を目的に設けられたものであり、品川区としても厳しい財政状況が続く中、補助金制度の維持に向けて努力してまいりました。

この制度は、幼児教育の機会を等しく確保するため、一定の所得制限の下で補助金を交付してきたのですが、景気低迷の影響により、公私立間の負担が広がりをみせておりました。そのため、平成22年度からは、所得制限の緩和を行い、約60%の保護者が対象となりました。さらに段階的に緩和を進め、平成28年度からは約80%の方が対象となるよう所得制限の緩和を拡大いたしました。また区立幼稚園の保育料が平成28年度より応負担となるため、公私立間の格差は縮小する

一般質問



日本文化の振興について

沢田 洋和 議員 (自・未)

子育てしやすい環境の整備について

③オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム
の取り組みの中で、支援のあり方を検討していく。④品川区観光振興協議会などで協議し、今後の観光振興の中で地域と連携して支援していく。

①厚生労働大臣と待機児童が100人以上いる市区町長との緊急対策会議では、どのような議論がされたのか。②待機児童解消に向けた方策や目標は。③区内2か所の公園で保育所設置が決まったが、今後の計画は。④品川区に長年住み続けている世帯が優先して保育園に入ることができるような制度設計を。⑤在宅子育て支援について、今後の方針は。⑥在宅子育て支援策等を配布するなどの支援策の拡充を。⑦育児の担い手として元気な高齢者世代の活躍が期待されているが、子育て講座を実施しては。⑧孫育てハンドブックを作成しては。⑨23区でも児童相談所を設置できることとなったが、今後都からどのように移管される予定なのか。⑩児童福祉司等の人材確保について、見解を。

子ども未来部長 ①区長は他の公務があり発言の機会はなかったが、出席した6区の区長は、育児休業制度の拡充や国有地の利用などを申し入れた。②子ども・子育て計画では、平成30年度に待機児童ゼロを目標としており、新たな公有財産の活用や開設支援などに取り組んでいく。③必要に応じて他の公園での整備を

検討していく。④町会・自治会との結びつきがある区民を優遇することは、子育て環境の向上等につながる可能性があり、基準見直しの必要性を調べていく。⑤子育てネウボラ相談員や家事育児支援ヘルパーの利用助成などの事業効果を検証し、更なる支援につなげていく。⑥他自治体での成果を踏まえ検討していく。

⑦シニア世代対象の子育て応援ボランティア養成講座を開催している。⑧他自治体での取り組みを参考に検討していく。⑨特別区児童相談所移管モデルに基づき具体的な検討を行い、速やかな設置に向けて取り組んでいく。⑩専門職の採用や育成のほか、都職員の身分の切りかえを求めていく。

若年層の自殺を防ぐ取り組みについて

①若年層に対する自殺予防対策の現状は。②自殺予防教育について、見解を。③教師やスクールカウンセラーだけではなく地域保健機関がかかわることは、卒業後の若年者の自殺予防にも役立つのでは。品川区保健所長 ①専門医による相談や教職員等のゲートキーパー研修のほか、27年度は相談先等を周知するハンカチ型リーフレットを作成し、成人式や大学等で配布した。

教育長 ②市民科で、ストレスマネジメントや友達、教師に相談することの大切さを教えている。③状況に応じて巡回相談員等が学校、児童・生徒、保護者と医療機関をつなぐ役割を担い連携している。

障がい者福祉と介護保険制度から抜け落ちた方々への支援策について問う

①障がい福祉サービスを受けていた方が65歳になると、介護保険制度が優先適用され、障がい特有のサービスについては障がい福祉が適用されるが、サービス認定する現場で、制度への理解徹底が必要では。①障害者相談支援センターの相談員と介護のケアマネジャーの連携を可能にするための条件整備を。②高次脳機能障がいの方の中には、必要とするサービスを受けられない方がいる。機能回復と向上を目的とするリハビリ等のサービスを検討すべきでは。

羽田増便計画に対する区の姿勢を問う



吉田ゆみこ議員 (ネット)

①羽田増便計画が実行された場合、多くの方の不安は騒音と落下物だ。航空機からの落下物の調査は国が行うとのことだが、区はどのような対応を考えているのか。②現時点で国土交通省から区の意見を求められているのか。

区長 ①万が一事故が発生した場合、透明性のある原因の究明と確実な再発の防止、丁寧な地域への対応を国に求めていく。②国や都と個別に協議する場合などで意見を述べてきた。

①市民による松葉のダイオキシンの調査から見えてきた品川区の環境課題と市民との協働による解決策について問う

①市民による松葉のダイオキシン調査によれば、廃プラスチック焼却後のダイオキシン濃度の上昇は明らかだ。区も独自の検証を。②品川清掃工場の環境測定では、同じ炉でもダイオキシン濃度に300倍近い開きがあったり、清掃工場の排ガスより大気中の濃度の方が高くなる等の結果が出ている。この測定結果は、計測方法の不備をあらわしているのでは。③廃プラスチックの焼却が始まった後、各清掃工場で水銀の事故が頻発している。それ以前には事故がな

見込みです。今後も十分な配慮を行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(2) 私立幼稚園への更なる支援・助成金増額および私立幼稚園母の会連合会への助成について

私立幼稚園の経営の安定化を図ることを目的とした私立幼稚園への直接助成金は、区の財政状況を勘案しながら、実態に沿うよう制度の見直しに努めてまいりました。

平成27年度から心身障害児教育事業費補助金を増額し、対象者1人につき補助額30万円といたしました。また平成27年度から私立幼稚園協会への補助金を507万から550万円に増額しました。

このように、区では幼児教育推進のため、助成制度などの見直しや増額を行ってきたところではありますが、私立幼稚園母の会連合会への直接の助成は難しい状況ですので、現状の幼稚園協会への補助金を母の会連合会の事業費支援にも活用していただくなど、創意工夫していただき、私立幼稚園の振興に役立てていただきたいと考えております。

いことから、廃プラスチックの焼却との関係を検証すべきでは。④環境調査を行っている団体等へ協働を呼びかけ、区が環境整備を行うかわりに、データをかわらせてもらうなどの連携は考えられないか。⑤市民への環境意識啓発の意味合いも含め、学校や公園に調査用の松を植えては。⑥葬儀場の排気は、自主規制のみで報告の義務もない。測定値の報告を求めるべきでは。

都市環境部長 ①ダイオキシン濃度の経年推移は多様な発生源の相乗的な影響によるものであり、清掃工場の廃プラ焼却が主たる要因とは考えにくい。また、広域の調査が検証の前提のため、区単独での対応は考えていない。②排ガスからの検出量が極めて微量のため、検査の不備とは言

えない。また、大気中の検出結果との不整合は、測定単位の相違など調査の前提が異なるために生じたものと考えている。③水銀混入は、廃プラ焼却が要因となることは想定できないが、こうした事故が過去3年間で7件発生しており、不適正搬入物の啓発と指導を区と清掃工場が連携して取り組んでいく。④大気や水質など環境における調査・測定はこれまで区が実施しており、区民や団体との協働実施については、安全の確保や継続性など様々な課題があるため、慎重に研究していく。⑤旧東海道や海辺の近くの公園などに現在松が植えられているが、まちや公園のコンセプト、景観などを踏まえて植樹したものだ。⑥必要に応じて事業者に向けていく。

一般質問



西本 貴子 議員（無所属）

区政運営について

①品川区総合戦略とは何か。
②一億総活躍プランについて。
③国の目標値に対する区のギャップをどのように埋めるのか。
④区の長期基本計画等への影響は。
⑤消費税10%増税の先延ばしは、区に与える財政的影響は。
⑥品川区はここ10年で人口増が見込まれるが、どう区政運営していくのか。
⑦行政ニーズの多様化に対応するためには、民間活力活用
⑧区長の将来に向けた安定的な人口確保と持続的な発展のための戦略的目標を掲げたものだ。
⑨ア国全体の動きを視野に入れつつ、区の目指すべき方向に沿って目標値を実現していく。
⑩国の制度や補助金等を積極的に活用していく。
⑪当面、区への大きな影響はないと考えている。
⑫人口動向の変化などを十分に見極めつつ、中期の施策のあり方を検討していく。
⑬時代に即した行政の役割を踏まえて、検討していく。

子育て支援について

①保育事業財政についてア財政負担の推移は。イ今後の動向は。ウ民営化による財政目標は。
②保育園の民営化についてア保育の質は担保されるのか。イ財政負担のみを理由とした保育園民営化は見直しを。ウすまいるスクールについてア教育委員会から子ども未来部に移管した目的は。
③学校現場との情報共有はどうしているのか。ウ時間延長に伴う利用状況の変化は。エ時間延長に対する保護者の意見は。オ職員体制について改善を。カ職員の新規採用を。

子ども未来部長 ①ア平成22年度から6年間で約60億円の歳出増だ。イ当面事業費は上昇する。ウ1園当たり約3千万円の国・都の負担金を事業費に充てることを見込んで

いる。②ア民営化後は立入検査等を通じ、チェック機能を果たしていく。イ10年で概ね5園の民営化を計画するもので、ビジョン等を変える考えはない。③ア効果的な施策運営等を図ることだ。イ職員会議で情報共有し指導に活かしている。ウ大きな変化は見られない。エ朝8時15分からの利用は助かる等の意見をいただいている。オ2名以上の委託職員が常駐し、緊急時に対応できる体制としている。カ福祉職全体の配置計画のもとで採用選考を実施している。

環境対策について

①区施設のLED対策についてア具体的な計画は。イ技

術革新にも柔軟に対応する必要があるのでは。ウ区民等への啓発を。②環境対策で一番遅れているのは水対策だと思

うが、節水・節湯に対する区の考えを構築し、対策を推進しては。③低炭素化社会の推進を環境計画に反映させては。

都市環境部長 ①ア庁舎で先行的に実施し、他の区有施設にも順次LED化を進める。②様々な角度から研究していく。ウわかりやすい啓発に努める。③新たな技術や情報に注視し、研究していく。④環境計画に低炭素社会の実現等の取り組みを位置づけていく。

防災対策について

①熊本地震の被害から、品川区の震災対策の見直しを図る必要があると考えるが、見解は。②今後も復興支援を継続するの。③区職員の訓練や各避難所訓練に、避難所での対応を模擬体験する避難所運営ゲームを取り入れては。

災害対策担当部長 ①課題を分析し、今後の防災対策に反映していく。②被災自治体の要請に応じ、積極的に支援を進める。③検討していく。



石田 秀男 議員（自・末）

まちづくりについて

①品川駅南地域についてア京急連続立体交差事業も含め、決定してから結果を伝えるのではなく、十分検討ができる時期に地域に対して説明を。イ区のリーダーシップでまちづくりの具体案を提案しては。②広町地区についてアJR東日本との協議状況は。イ東急を含めて再開発するべきでは。ウ区役所の建てかえ計画を開発に合わせて発表するべきでは。③八潮地区についてア八潮団地では急速な高齢化が進行しているが、どのように検討していくのか。イ新線計画において、将来を考えて駅をつくるべきでは。④大井競馬場についてア利用者を増やすため、開催時間を2時間延長しては。イ競馬場を様々な目的で利用するため、厩舎を移転しては。⑤舟運など水辺の活用について、区の考えは。

地域振興部長 ①都市型観光プラン等との整合を図りつつ、各商店街などのご意見も伺いながら検討していく。

区長 ①ア少しでも早い時期に地域へ情報提供したいと考えている。イ必要なリーダーシップをとり、新たなにぎわいの創出等について、地域とともに検討していく。②ア本格的な工事は東京オリンピック・パラリンピック後の着工をめざして検討中だと聞いている。④東急電鉄との連携も大切だと考えている。⑤ウ

区長 ①ア少しでも早い時期に地域へ情報提供したいと考えている。イ必要なリーダーシップをとり、新たなにぎわいの創出等について、地域とともに検討していく。②ア本格的な工事は東京オリンピック・パラリンピック後の着工をめざして検討中だと聞いている。④東急電鉄との連携も大切だと考えている。⑤ウ

舎のあり方についても検討する必要があると考えている。③ア団地の建てかえや都市基盤整備、地区の活性化等を検討していく必要があると考え

る。④新線計画については、今後事業者とともに事業計画の課題等を研究していく。

総務部長 ④ア集客増は見込めるが時間延長によるレイス数の増は難しく、人件費や運営経費等を考えると、大幅な収入増は見込めないとのことだ。⑤膨大な経費を要するため慎重に考える必要がある。防災まちづくり部長 ⑤運河や河川等の水辺を貴重な資源と位置付け、積極的に利活用を進めていく。⑥現在Eポートリレー等を開催しており、今後も大田区と連携して水辺の利活用に取り組んでいく。

スポーツについて

①総合型地域スポーツクラブの育成が生涯スポーツの推進の中核と位置づけられているが、区の現状等は。②今後、既存の競技団体や商業スポーツ団体等が連携をとるために、総合型地域スポーツクラブの役割が重要になるのでは。③ジュニアアカデミーの立ち上げを。④天王洲公園の改修の際に、管理事務所を多目的利用が可能な施設にしては。⑤



大崎第一地区区民まつり（第三日野小学校）

大井ふ頭中央海浜公園等にスケボーパークの整備を。文化スポーツ振興部長 ①住民の自主運営による地域スポーツクラブの設置充実に努めており、今後も拡充していく。②既に荏原B地域スポーツクラブで協働事業を展開している。今後人的資源の有効活用を図っていく。③スポーツ協会と検討していく。④公園改修の実施設設計を進めており、ブライインドサッカーの国際大会開催も視野に入れて検討していく。⑤スケートボード競技が東京オリンピックの追加種目として正式決定された後、大井ふ頭中央海浜公園での開催を要望していく。

人材確保について

①保育士不足解消のため家

賃助成等を行っているが、現状等は。②保育園と保育専門学校を併設した複合施設をつくれな。③国は2025年には約37万7千人の介護人材が不足すると推計しているが、地方では介護需要の充足率が高い。十分なサービスを受けるために住みよれた土地を離れる選択もしなければならぬのでは。④介護人材の不足を地域で支えるため、すけつと品川養成講座の拡大を。福祉部長 ①宿舎借り上げ支援などに取り組み、27年度は79人が宿舎を利用した。②今後の研究課題とする。③区に住み続けたいという期待に応えるため、地域包括ケアシステムの構築と推進を重点課題として取り組んでいる。④介護の裾野を広げる取り組みとなるよう発展させていく。

一般質問



塚本よしひろ 議員 (公明)

町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例について

①良好な地域コミュニティを維持形成し、区民相互が互いにつながりを持った地域社会の実現をめざして条例が制定されたが、町会などからの意見等は、①条例に定められた区の思いは、②町会への不当介入、区事業への参加の強制といった批判に対する区の見解は、③町会・自治会の担い手不足に対する区の認識は、④町会・自治会支援の窓口である地域センターの機能強化を。

区長 ①歓迎しているとの声が多数寄せられている。

①具体的な効果として、町会・自治会へ積極的に参加いただくこと等を期待している。

②町会・自治会や区民の自主性・主体性は十分に担保されており、強制や押しつけでないことは明らかだ。③町会への加入促進支援事業等を活用して将来の担い手候補を発掘していく。④地域を支援する拠点として、より一層の職員的能力向上に努めていく。

誰もが安心して子育て家庭支援について

①国の「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策」を受けて区はどう対応するのか。②非常勤保育従事者の勤務時間をより柔軟にし、シフ

トを組みやすくする対応が必要では。③施設型病児保育の補完機能として、訪問型の病児保育に対する助成制度の創設を。④DV等で離婚係争中の家庭や、公的年金を受給する祖父母が育てる家庭にも児童扶養手当が支給されているのか。⑤母子家庭および父子家庭高等職業訓練促進給付金事業について、⑦広く利用されなかつた理由は、①給付期間を3年にしたこと、どのくらいの利用実績の増加につながると見込んでいるのか。

子ども未来部長 ①小規模保育事業は事業者による定員拡大は難しいと考える。施設の積極的な認可については、実績ある事業者が開設すること等を基本とし、引き続き開設支援を行っていく。②検討していく。③どのような仕組みを構築できるか等の課題を整理していく。④いずれも支給実績がある。⑤⑦修業期間を2年から1年以上に改め、給付期間を2年から3年に延長したこと、対象資格が調理師や看護師等に広がり利用者が増加すると期待している。

次代を担う子どもを育てる学校教育について

①ICT教育について、⑦成果は。①今後の展開は。②S

NSについて、⑦学校・家庭でつくるSNS使用ルールの状況は。①トラブルになった場合の対処は。③単学級編制には心配の声が多いが、1学年のクラス編制をどのように考えているのか。④クラス編制における品川区固有教員の考え方は。⑤平成28年度に設置される学事制度審議会はどのような視点で取り組むのか。

教育長 ①学習意欲等の向上につながっていると考え

る。①29年度までに全区立学校で環境を整備する予定だ。

②⑦学校ルールは児童・生徒が主体となり内容を定めており、家庭ルールは親子で決めるよう呼びかけている。①学校は事実確認後、データを削除させるなど早期対応に努めている。③単学級、複学級の双方にメリットがあるものと考えている。④一貫教育や市民科充実の中心人材として配置を進めている。⑤学区の課題が対象となる見込みだ。

しながらフリーWi-Fiによる防災対策と観光施策の拡充について

①全ての広域避難所への無料Wi-Fiスポットの設置を。②公衆電話ボックスを利用した更なるSHINAGAWA FREE Wi-Fiの展開について、見解を。

企画部長 ①避難所の管理者である各関係機関に設置拡

充の働きかけを行うとともに、区立公園等への増設など防災面における通信環境の充実を図っていく。②様々な整備方法について検討を進めていく。



鈴木ひろ子 議員 (共産)

アベノミクスと消費税増税路線は破綻 区民生活と地域経済応援の区政に転換を

①第1回定例会で、区長は「日本経済は回復しつつある」と述べたが、今でも同じ認識なのか。②国に対して消費税増税の中止を求めるべきでは。③基金を活用し、認可保育園や特養ホームの増設を

している。区としては区内産業の業況等も十分に把握し、適切な施策運営を行っていく。②一自治体の行政の長として要請をする考えはない。③これまで特養ホーム等の大規模施設整備に際し、基金を活用し施策の充実を図ってきた。

区長 ①景気は日々変化を

要支援に加え、要介護1・2までサービス取り上げ。高齢者の暮らしを「介護保険大改悪」に反対し、特養ホームの増設など充実こそ

①総合事業について、⑦区が単価を引き下げたため、ヘルパーの時給が引き下げられたという事例があることを知っているのか。④区の単価は適

正なのか。②安倍政権が計画している介護保険の大改悪では、社会保障制度が崩壊となるのでは。③林試の森公園隣りの国有地は、国からの照会を待つのではなく、特養ホームと老健施設の増設計画を決定し、国に働きかけるよう求めるが、見解を。④荏原四中跡に特養ホームと避難所になる集会所等の建設計画を。

福祉部長 ①⑦事業者ごと

に適切な運営を行っていると思われる。①国の考え方や利用実績等を総合的に勘案し、適正な単価を定めたものだ。

②国で協議している段階だが、区は今後も高齢者福祉施策の充実を努めていく。③国から地元自治体への取得照会の時期は未定だが、災害時の広域避難場所である都立公園に隣接しており、活用については都とも連携しながら検討を進めていく。④総合的な観点から活用の検討を進めていく。

1週間で1人300万円もかけるリオ・オリンピック視察は中止を

①視察を行う必要はあるのか。②議員の同行を要請した目的と根拠は。③リオまで開催中に行かなければわからないこととは何か。④自治体関係者等との接触の調整はどこまで進んだのか。⑤行程表にある各種視察・調査の具体的な中身は。⑥航空券とホテル代等の価格は。⑦視察計画策定を委託している事業者名等は。⑧視察の中止を。

文化スポーツ振興部長 ①

2020東京大会では、区内で3競技が実施予定であり、

地元自治体がどうかかわるかを現場において確認することが重要だと考えた。②議員の同行によりそれぞれの立場から複眼的に調査・考察すること、相乗効果を生み出せるという判断だ。③実際の会場を直接見て、関係者の話を直接聞くことは重要だと考える。④現在調整中だ。⑤詳しい行程は7月中旬に確定する見込みだ。⑥1人100万円を切る見込みだ。⑦株式会社電通東日本に一括委託する予定だ。⑧中止は考えていない。

この夏の決定許すな 区民の命と暮らしを守るため、羽田新ルート案の撤回を求めよ

①新飛行ルート計画による住環境悪化を問題としない



しながわ区民公園屋外プールリニューアル (勝島3丁目2番)

のか。②増便のメリットは来訪者が増え区内にお金を落とすことだと説明するが、経済と人の命を天秤にかけることはやめるべきでは。③都心ルート解禁により、将来品川区を低空飛行する飛行機を激増させる突破口にしようとしているのでは。④計画に反対を。都市環境部長 ①更なる環境への方策と安全への対策を求めていく。②経済効果と環境影響や安全対策は比較するものではないと考えている。③現段階では示されていないが、増便とならないよう国に求めていく。④機能強化には一定の理解をしているが、騒音や安全対策はまだまだ不十分と考えており、環境影響に配慮した具体的な方策を明らかにするよう、引き続き国に申し入れていく。

本会議・委員会の日程（予定）

本会議の一般質問と答弁、決算特別委員会の総括質疑の様子をケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送します。

会 議 名		開催日時	ケーブルテレビ放送	
本 会 議		9月23日(金)午後1時 9月26日(月)午前10時	※一般質問と答弁のみ 10月3日(月)～7日(金) (再放送) 10月8日(土)・9日(日)	
		10月24日(月)午後1時	放送はありません。	
常任委員会	総 務	9月27日(火)午前10時 9月28日(水)午前10時	放送はありません。	
	区 民			
	厚 生			
	建 設			
	文 教			
議会運営委員会		8月25日(木)午後1時 9月21日(水)午前10時30分 10月21日(金)午前10時30分		
特別委員会	行財政改革	8月23日(火)午後1時 9月29日(木)午前10時		
	オリンピック・パラリンピック推進	8月24日(水)午後1時 9月30日(金)午前10時		
	決 算	款別審査		10月4日(火)・5日(水)・11日(火)・ 12日(水)・14日(金)・17日(月) ※各日ともに午前10時
		総括質疑		10月19日(水)午前10時
			10月26日(水) (再放送) 10月30日(日)	

本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。
また、本会議は会議終了後おおむね1週間、決算特別委員会の総括質疑は会議終了後
おおむね2週間後に、インターネット録画中継でご覧いただけます。

意見の分かれた議案等（平成28年第2回定例会）

件 名	自・末 (12)	公明 (8)	共産 (7)	民・無 (6)	維・無 (3)	ネット (2)	無所属議員		結果
							(1)	(1)	
平成28年度一般会計補正予算（第52号議案）	○*10	○	×	○	○	×	○	○	可決
議員派遣の件（ジュネーヴ市公式訪問団派遣）	○*10	○	×	○	×	○	○	○	可決

○…賛成　×…反対　（ ）は所属議員数　*は議決にかかわった議員数　※無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。

請願・陳情の結果（平成28年第2回定例会）

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、結果をお知らせします。

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果※
総務委員会	「社会資本整備総合交付金」の活用など、八潮69号棟が公的住宅として存続できるよう品川区に施策を求める請願	平成28年 請願 第5号	不採択
厚生委員会	特養ホームと老健施設の増設を求める請願	平成28年 請願 第6号	不採択
行財政改革 特別委員会	羽田空港の増便計画による品川・八潮上空の飛行中止を求める請願	平成27年 請願 第14号	継続審査
	大型旅客機が品川区上空を飛行することに反対するよう求める請願	平成27年 請願 第15号	継続審査
	大気汚染と環境破壊を進める大型旅客機が品川区上空を飛行することに反対する請願	平成27年 請願 第16号	継続審査
	羽田空港の増便により大型旅客機が品川区上空を飛行するルート案の撤回を求める請願	平成27年 請願 第19号	継続審査
	羽田空港増便にともなう品川区上空への新飛行ルート設定に反対する請願	平成27年 請願 第20号	継続審査
	羽田空港増便計画による「航空機の都心飛行、品川上空の低空飛行ルート計画」を強行しないよう求める請願	平成28年 請願 第7号	継続審査
	住民の理解が得られない中、平成29年度予算概算要求に、新ルート費用を入れないよう品川区として政府に求める請願	平成28年 請願 第8号	継続審査

※不採択（区議会としては、ご希望に賛同しかねます。） 継続審査（区議会として、引き続き慎重に審査します。）

区政についてご要望やご意見を請願や陳情としてお受けしています

- 1 皆様のご要望やご意見をA 4 版の文書（様式 1 を参照）にしてください。
- 2 請願（陳情）代表者の住所・氏名を書き、押印してください。請願・陳情者が多数の場合は、住所・氏名を自署した署名簿（様式 2 を参照）を添えてください。
- 3 請願の場合は紹介議員の記名押印を受けてください。
- 4 定例会のはじめに請願（陳情）が付託されるには、定例会の開会の日の 4 日前（土・日・祝日を含まず）までにお出しいただき、

(様式 1)

○○○に関する請願（陳情）

品川区議会議長

○○○○様

紹介議員（陳情には不要）

氏名 ○○○○印

請願（陳情）代表者

住所 ○○○○○○○○○○

氏名 ○○○○印

連絡先電話番号

○○○○-○○○○

請願（陳情）の要旨

○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

理由

○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(様式 2)

○○に関する請願（陳情）

請願（陳情）の要旨

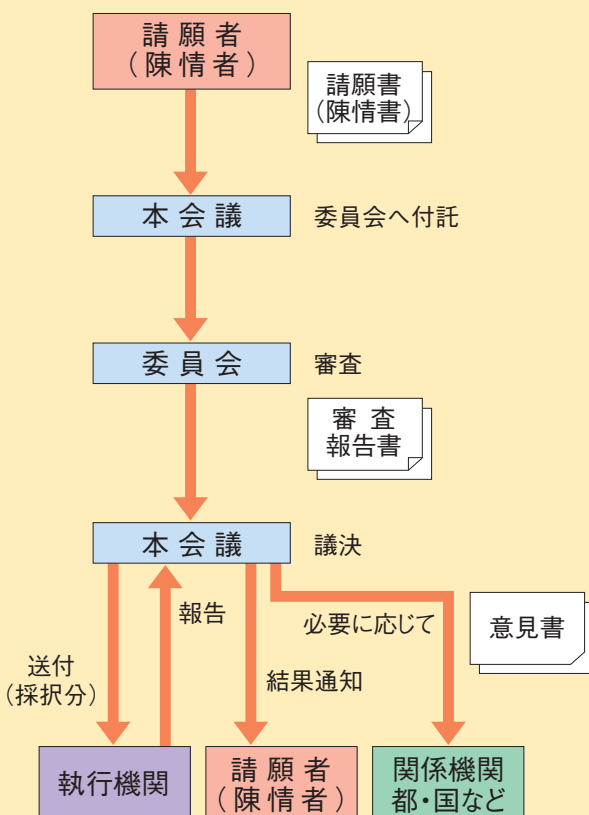
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

住所	氏名
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

（ 枚目中 枚目）

問 区議会事務局議事係 ☎03-5742-6809

〈請願・陳情の流れ〉



- 1 請願には、区議会議員の紹介が必要です。議員の紹介が無い場合は、陳情として扱います。
- 2 請願や陳情は、内容により関係する委員会で審査し、採択か不採択かを決め、議長に報告します。なお、陳情は参考送付とする場合があります。
- 3 本会議に諮り、採決を行います。
- 4 本会議で採択したものは、区長や教育委員会などの執行機関に送り、その実現に努力するよう求めます。
- 5 請願（陳情）代表者には、採択・不採択いずれの場合もその結果を通知します。